

▶執筆 人権教育課 (市役所内線 4012)



芸術の秋ですね

学校ではこの時期、どの教室にも子どもたちの絵が並び、学校に勤めていた頃の私はその絵を見ることを、いつも楽しみにしていました。

子どもたちは、絵を描くことが好きとか嫌いとかを口にします。どうしてそのような違いが出てくるのでしょうか。

子どもたちの中には、写真のような絵を描く子がいます。その絵は一般的に「上手」と褒められます。すると、子どもたちは上手な絵は写真のような絵と思い、そのように描こうと頑張ります。しかし、どの子もそのような絵は描けません。うまく描けない子は、自分は下手だと思ってしまうのです。また、周囲の誰かに言われた言葉で、自分は「下手」と決めつけてしまう子もいます。

絵の表現は一人一人違います。絵にはその時のその子の思いや感性が表現されています。それぞれの絵に、一人一人の表現の良さがあるの

です。私は教室で「この線はあなたにしか描けないいい線だ」とか「この色はあなたにしか作れないきれいな色だ」と褒めていました。すると、聞いていた周囲の子どもたちも、みんなと一緒に褒めてくれました。そうして、みんなで認め合いながら仕上げた絵は、どれも生き生きとした素晴らしい作品になります。そんな絵がいっぱい掲げられている教室を、私はいつも目指していました。

褒められたり認められたりすることは子どもだけでなく、大人にとっても高齢になってもうれしいものです。そこには自信が生まれ、会話が活発になり、楽しく温かい関係が生まれます。子どもたちの絵のように、一人一人のよいところを、みんなで認め合える家庭や地域を目指していきたいですね。



手押し相撲



市指定文化財「お笑い神事」



「お笑い神事」は八幡神社の秋祭りで行われる神事です。宮司の祝詞の後、氏子4集落から各2人の頭人がそれぞれ八角棒と開いた白扇を持ちます。そして輪になり、八角棒と白扇を上下させながら、「お笑い、お笑い、アッハッハー、アッハッハー」と声高らかに笑いながら拝殿内を3周します。次に頭人が東西に分かれて手押し相撲を行い、豊作を祈ります。

神事の由来は、祭神である菅田別命(応神天皇)が幼少の頃、大臣の武内宿禰や付き人にあやされている様子と伝えられています。笑いや相撲は豊作を祈願するものですが、笑いや相撲は豊作を伴うものは全く見られず、珍しい神事として興味深いものです。

ふるさとの魅力再発見ーにしわき歴史探訪

▼問合せ 郷土資料館 (☎23 5992)

市長からの手紙

ー西脇を元気に!!ー



健幸スマイルスタジオは、ママの健康づくりと交流の場

好評の健幸運動教室NiiCOを監修いただいている筑波大学大学院・久野譜也教授が、内閣府「戦略的イノベーションプログラム」において岸田総理から任命され、子育て期の女性を健康にする事業の責任者に就任されました。

子どもまんなか! ママもまんなか! ー子育て支援プロジェクト



西脇市長 片山象三

の女性こそ痩せすぎず、適度な体形を保ち、体力づくりをすることが大切です。

本市は全国12自治体と筑波大学を中心とした産官学チームの一員として、他に先んじて、妊婦さんや子育てママのための「健幸スマイルスタジオ」事業を開始しました。専門家による運動指導や相談、交流を一体的に行うもので、テレビでおなじみの関根さん親子やお笑い芸人のロバート秋山竜次さんらも公式アンバサダーに就任されています。

みんなでまちづくりー市民の皆さんのまちづくり活動ー

自分らしく暮らせる地域づくりを目指して

市民提案型まちづくり事業採択団体の紹介

ボランティア団体「よつばのクローバー」は、年齢や障害の有無にかかわらず、自分らしく暮らせる地域社会づくりを目指して活動しています。

5月に「みんなあつまれにこにこコンサート」を開催し、西脇北高校のボランティア含め約230人が参加。最後には参加者もステージに上がり出演者と一緒に歌を歌ったり、「生まれてきてくれてありがとう」と参加者同士で声を掛け合うなど、心温まるコンサートとなりました。



このような取り組みは、障害者への理解が深まることで、共生の第一歩につながると思っています。今後も地域に根ざした活動を続けていきます。

西脇の自然 595

アキチョウジ

しそ科



山際で半日陰のようなところで見掛けることがありますが、どこでも見られる花ではなく、西脇周辺では珍しい部類に入ります。花は筒状で長く伸び、花穂を出して薄紫色の花をたくさん付けます。漢字では「秋丁字」と書き、花が「丁」の形をしていることからこの名が付けられたといわれています。

山際は人の手が入りやすく、低木の伐採や草刈りなどで環境が変化しやすいため、生き残るのは大変です。秋の澄んだ空気に包まれて可憐に咲く花を見て「草刈り作業がなくて良かったね」と声を掛けたくりますし、黒田庄町で大群落を見つけたときは興奮したものです。毎年同じところに咲いてほしい花です。

【西脇市動植物生態調査研究グループ】